

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	生涯学習ガイドブック			
■事業開始年度	平成9年度			
■評価事業コード	090200 - 015	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	生涯学習情報を広く提供することにより、生涯学習機会の拡充を図る。講座・イベント、講師・指導者、サークル・団体、市内各種施設の情報の提供			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	生涯学習ガイドブック	一般	生涯学習センターホームページでの情報提供講師・指導者、サークル・団体登録済。	生涯学習センターホームページでの情報提供講師・指導者145人、サークル・団体35団体登録済。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	42	40	37	43	
人件費	84	52	21	305	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	126	92	58	348	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	情報登録数	158件	158件	179件	180件	全項目の登録数
02	更新作業1回あたりコスト	126千円	92千円	58千円	348千円	フルコスト÷更新回数
03	情報更新回数	1回	1回	1回	1回	掲載している情報の更新回数

04	登録情報1件あたりコスト	798円	582円	324円	1,934円	フルコスト÷登録件数
----	--------------	------	------	------	--------	------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

登録件数が増加し、市民への情報提供がなされ、生涯学習の機会提供につながっている。

問題点・課題等

高齢等を理由に継続登録を辞退される方が増えている。ガイドブックの活用実態が把握できない。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

HP等で情報登録を促し、提供できる生涯学習情報を増やすことで、生涯学習の機会の提供に努める。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	まちづくり出前講座			
■事業開始年度	平成13年度			
■評価事業コード	090200 - 016	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市民の生涯学習環境を整え、機会を増やすことにより、自主的に生涯学習をする市民が増える。自治会、子供会、ふれあいデイサービス等の団体の要望に応じ、市職員や公共機関、民間企業の担当者が会場へ出向いて講座を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	まちづくり出前講座	学校、企業、自治会、老人クラブ、ふれあい等の団体、市民で構成する10名以上の団体	講座数225メニュー。パンフレット及びポスター作成、配布。広報等による事業周知。申し込み受付。メニュー担当課等と日程調整。講師派遣、講座実績表集計。	派遣講座数225件(対前年比52.7%減) 受講者数7,678人(対前年比53.3%減)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	223	252	285	303	
人件費	1,542	1,877	4,178	1,820	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,765	2,129	4,463	2,123	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	講座1回あたりコスト	3,157円	4,482円	9,376円	9,436円	フルコスト÷講座数
02	受講者数	17,171人	18,132人	16,545人	7678人	出前講座受講者数
03	受託件数	559件	475件	476件	225件	出前講座受託件数

04 登録講座数	216講座	218講座	229講座	230講座	出前講座メニュー数
----------	-------	-------	-------	-------	-----------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	新型コロナウイルス感染症の影響で事業の休止もあり、104件の講座が予定通り実施できず、申込件数、受講者数ともに減少した。受講者の満足度は高く(アンケート)、市民の生涯学習への関心は依然高い状況にある。	登録以来申込みのないメニューがある。また、講師の高齢化が見られる。定住自立圏の取組も試験的に実施しているが、統一の取扱いが難しく、4市町全域の取組にまでは至っていない。

1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
<input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	<input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	<input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	<input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	<input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	8. 施策の優先度(市民意識調査)	9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	<input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	<input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能
		11. 経済性・効率性の向上		
		<input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい		

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

需要のある新しいメニューの登録を増やし、申込みのないメニューは紹介文を見直す等の工夫をする。定住自立圏の取組については、試験的導入の結果等を参考に全市町へ広げられるように検討していく。

■今後の方向性

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| <input type="radio"/> I. 拡充             | <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 |
| <input checked="" type="radio"/> II. 継続 | <input type="radio"/> V. 完了     |
| <input type="radio"/> III. 縮小           |                                 |

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	ホームページ管理運営事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 022	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	ホームページで生涯学習情報を提供し、生涯学習活動の促進を図る。生涯学習センター主催事業及び生涯学習情報全般の発信。施設の利用予約システム。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	ホームページ管理運営事業	一般	ホームページにて生涯学習情報を随時提供。ホームページ、施設予約システムの更新。	ホームページにて生涯学習情報を随時提供。ホームページ、施設予約システムの更新を行った。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	52	73	1,859	408	
人件費	382	1,768	1,296	745	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	434	1,841	3,155	1,153	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	アクセス1件あたりコスト	70.4円	299.6円	539.7円	カウント不可	フルコスト÷ホームページアクセス件数
02	更新1回あたりコスト	25,529円	153,417円	225,357円	カウント不可	フルコスト÷更新回数
03	ホームページアクセス件数	6,164件/年	6,145件/年	5,846件/年	カウント不可	R元年度で独自のHP廃止。

04 更新回数	17回/年	12回/年	14回/年	実施なし	システム不具合により市ホームページでの告知へ移行
---------	-------	-------	-------	------	--------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

市ホームページで生涯学習情報を提供し、生涯学習活動の促進を図っている。また、施設予約システムも活用されている。

問題点・課題等

システムが古いことによる問題解決のため、独自のHPを廃止し、市HPへの移行及び新予約システムの導入を行ったが、新予約システムでは仮予約までしか出来ないため、インターネットでの処理が完結せず、利用者にとって利便性が低い。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

貸館業務の効率化、利用者の利便性を高めるため、電子決済の導入等を検討していく。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	地区交流センター生涯学習事業			
■事業開始年度	平成18年度			
■評価事業コード	090200 - 054	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)			
■法令等の名称	社会教育法第五条			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	自己実現を目指して、様々な方法での生涯にわたって学習しようとする機運の醸成による、地域における生涯学習社会の構築を目指すため、各地区交流センターの推進員に対して、社会教育・生涯学習事業など地域の学習活動を推進し、地域の学習活動の気運の醸成を図れる担い手となるように人材育成を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	地区交流センター生涯学習事業	市民	交流センター16地区での生涯学習関連事業	交流センター16地区での生涯学習関連事業 事業数191事業、参加者数23,666人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	65,931	68,343	68,942	69,571	
人件費	3,205	2,613	1,220	1,564	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	69,136	70,956	70,162	71,135	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	参加者数	67,267人	65,851人	50,323人	23,666人	延人数
02	対象地区数	16地区	16地区	16地区	16地区	すべての交流センターで生涯学習が行われている。
03	1館あたりコスト	4,321千円	4,435千円	4,385千円	4,446千円	フルコスト/16館

04	事業数前年度比	1.03	1.00	0.87	0.47	今年度事業数/前年度事業数
----	---------	------	------	------	------	---------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>新型コロナウイルスの影響のもと、全地区で感染予防対策を実施し、工夫した講座等を実施した。学習貴会の提供だけでなく、地区民の交流促進や地域づくりにも寄与している。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>リピーターに支えられている反面、若年層や新規の参加者が少ない。趣味的な講座に偏っている傾向がある。</p>
---	--	---

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

地域の生涯学習に関する事業については、令和3年度からは、地域づくり総合交付金へ移行。事業内容としては、地区交流センターの公民館保険料と地区の生涯学習推進員への年2回の研修の開催となる。引き続き生涯学習事業の支援をしていく。

■今後の方向性

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| <input type="radio"/> I. 拡充             | <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 |
| <input checked="" type="radio"/> II. 継続 | <input type="radio"/> V. 完了     |
| <input type="radio"/> III. 縮小           |                                 |

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	地区交流センター生涯学習事業補助金			
■事業開始年度	平成19年度			
■評価事業コード	090200 - 057	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の概要	地域の生涯学習等の事業推進を図り、地域の教育力など生涯学習に対する意識や気運の醸成を図る。各地区交流センターの生涯学習事業及び社会教育事業の推進のための、移動学習に係るバスの借上げに対する補助金			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	地区交流センター生涯学習事業補助金	市民	交流センター16地区での移動研修等バスを使用した学習事業	交流センター10地区での移動研修等バスを使用した学習事業事業数:37事業、バス借上台数:37台、参加者数:1,047人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	3,645	3,659	3,591	1,488	
人件費	1,679	2,229	838	820	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,324	5,888	4,429	2,308	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	移動学習参加者数	2,705人	2,497人	2,603人	1,047人	16地区交流センターの実績の集計
02	参加者1人当たりコスト	1,968円	2,359円	1,701円	2,204円	フルコスト÷移動学習参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

新型コロナウイルスの影響下、移動学習を実施しない地区(5地区)があった。しかし、事業を実施した地区は、感染予防対策をしっかりと行い、参加者の意欲向上及び生涯学習の醸成が図られた。

問題点・課題等

近年、バス借上げ料の高騰により、事業回数が減少している。

  

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

  

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

令和3年度から地域づくり総合交付金事業に移行

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	講座開催事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 061	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の概要	講座を実施することにより、市民の生涯学習に資する。市民大学、市民大学ゼミナール及び富士大学市民セミナーの実施。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上市民大学	市民	市民大学は6月～11月までの10回講座。運営委員会3回開催。ゼミナール法学部及び地元学部を開設。	市民大学及びゼミナール地元学部を統合して、年9回開催し、延べ受講者数は668名。ゼミナール法学部は、前期日程と後期日程を統合して年5回開催し、延べ受講者数は147名。
02	市民交流講座	市民	休止	廃止
03	富士大学市民セミナー	市民	年4回開催	年4回開催、延べ受講生52人(前年度比14名増)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	566	664	429	316	
人件費	5,265	2,690	4,116	2,607	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,831	3,354	4,545	2,923	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	延べ受講者数	43人	32人	38人	53人	富士大学市民セミナー
02	延べ受講者数	950人、207人、177人、261人(計1,595人)	747人、98人、144人、200人(計1,189人)	594人、144人、121人、135人(計994人)	668人、0人、0人、121人(計789人)	市民大学、ゼミナール地元学部、法学部(前)、法学部(後)(受講生と聴講生の計)
03	講座回数	10回、6回、5回、6回(計27回)	10回、5回、5回、6回(計26回)	10回、4回、4回、5回(計23回)	9回、中止、中止、4回(計13回)	市民大学、ゼミナール地元学部、法学部(前)、法学部(後)
04	講座参加者数	70人	70人	休止	実施なし	市民交流講座
05	1回あたりコスト	167千円	99千円	169千円	225千円	フルコスト/講座の合計回数
06	1人あたりコスト		3千円	4.4千円	3.5千円	フルコスト/講座の合計人数
07	講座回数	4回	4回	休止	実施なし	市民交流講座
08	講座回数	4回	4回	4回	4回	富士大学市民セミナー

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

多彩な講師を招いて、今日的課題や多分野で生活に密着する知識を学習する機会を提供することで、市民の学習意欲が向上しているとともに、身近なトラブルに合わない意識の向上が図られた。アンケートでも「理解できた」が大半であった。また、他の地域住民との交流も図られている。

問題点・課題等

講座の受講生が減少しており、民間での様々な学習方法や機会がある中で、よりニーズに合わせた講座内容の構成が必要である。また、障がい者の生涯学習について検討していく必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

## 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

開催回数を見直し、内容の充実を図る。受講生の満足度を向上させるために、引き続き運営委員会において内容を協議し企画する。また、会場に来られない市民のために、対面式の講座のみならず、インターネット配信等の講座を検討する。

### ■今後の方向性

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| <input type="radio"/> I. 拡充             | <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 |
| <input checked="" type="radio"/> II. 継続 | <input type="radio"/> V. 完了     |
| <input type="radio"/> III. 縮小           |                                 |

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館		■担当係	奉仕係
■評価事業名称	図書消毒機購入事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	418100 - 124	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	感染症対策として、図書専用の消毒機を図書館内に設置することで、安心して利用してもらうためのもの。中央図書館、江釣子図書館、和賀図書館 各1台設置し、利用者が自分で消毒機に本を入れ、消毒を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	図書消毒機購入事業			3台購入(中央、江釣子、和賀各1台設置)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				3,081	
人件費				75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				3,156	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
	設置数				3台購入(中央、江釣子、和賀各1台設置)	

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 3台購入(中央、江釣子、和賀各1台設置)済み。	問題点・課題等
1. 直接的な受益者の範囲 <input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input checked="" type="radio"/> V. 完了
--	---